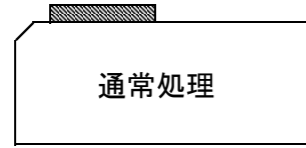


ハード施工要領書

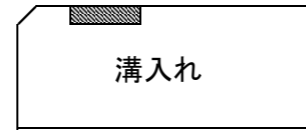
段鼻に既設溝がない場合の工法

段鼻に既設溝がある場合の工法

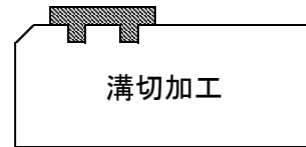
軽歩行に向く



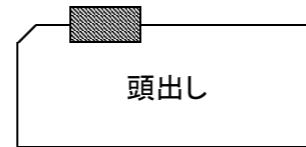
通常処理



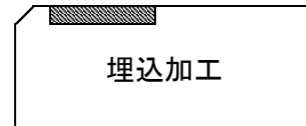
溝入れ



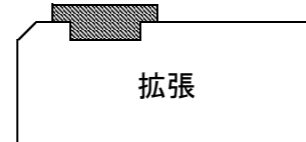
溝切加工



頭出し



埋込加工



拡張

重歩行に向く

施工手順
清 掃

施工内容

使用機材・使用材料

- ・ 施工に適した下地か確認します。
- ◎清掃
 - ・ 施工下地にテープや塗料（接着のあまい）汚れ等があれば取り除きます。
 - ・ 糊残り、汚れ、油分が激しい場合は、シンナーまたは洗剤を用いて事前に洗浄を行って下さい。
 - * ワックスが塗られている場合は剥離して下さい。
- ・ 清掃後、施工面が完全に乾燥していることを確認して下さい。
- ◎仮マスキングの設置
 - ・ 下地処理を適切に行うため、施工したい形状に合わせて仮マスキングします。
 - * クレープ紙マスキングを使用し、下地処理時に機械で傷がついていなければ本施工用のマスキングとしても構いません。

- ・ 清掃道具
〔下地状況により選択〕
- ・ スクレーパー
- ・ シンナー類
- ・ ワックス剥離剤
- ・ シール剥がし
- ・ アルカリ系洗剤

- ・ マスキングテープ
- ・ ベルトサンダー
- ・ ダイヤモンドカッター
- ・ 切削機



施工手順	施工内容	使用機材・使用材料
下地処理方法	<p>●段鼻に既設溝が無い場合</p> <p>◎通常処理 【一般家庭、マンション等】 比較的歩行頻度が低い階段など</p> <p>・施工面をベルトサンダー等で目粗しをしてください。</p> <p>◎溝切加工 【公共施設、商業施設等】 比較的歩行頻度が高い階段・スロープなど</p> <p>・施工面をダイヤモンドカッター等で深さ1mmまでを目安に溝を切ってください。 * 切削幅1-2mm * ランダム又は1-2本切削溝を入れて下さい。</p> <p>* 溝切加工することにより、溝に入る樹脂からアンカー効果が得られ接着性が増加します。</p> <p>◎埋込加工 【駅階段等】 恒久的に段差識別したい場合</p> <p>・切削機で施工幅に溝を切る。(切削深さ2-3mm)</p> <p>* 施工後は階段ブロックと一体化することになり恒久化が可能になります。</p> <p>●段鼻に既設溝がある場合</p> <p>◎溝入れ 既存段鼻の溝に埋め込むので、施工後は階段ブロックと一体化することになり恒久化が可能になります。</p> <p>◎頭出し 既存の段鼻の溝に埋め込み、少し高さをだす工法。 * 段差識別に加え滑り止め効果が向上します。</p> <p>◎拡張 既存の段鼻の溝が細かい場合、溝を利用し拡張。 * アンカー効果がえられるだけでなく、視認性と防滑性が向上します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ サンドペーパー ・ ベルトサンダー ・ カッター類 ・ ダイヤモンドカッター ・ 集塵機または掃除機 ・ 切削器 ・ 集塵機 ・ 送風機 [マスキング時に] ・ 厚手のマスキングテープ



施工手順	施工内容	使用機材・使用材料
脱脂	<p>◎脱脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工面の汚れを/粉塵/油分/ワックス/水分/ホコリを取り除きアルコールで表面をきれいな状態にします。 (マスクの工程のあとに脱脂してもかまいません) 水分、油分、汚れ等が残らないよう適切に処理をしてください。 (表面が濡れていたり、下地に水分が含まれている場合などは施工できません。) 	<ul style="list-style-type: none"> アルコール (エタノール) ウエス
↓		
マスク	<p>◎マスクの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工場所に応じた下地処理が終われば、施工したい形状にマスクします。下地処理時に設置したマスクが無傷であれば、そのまま活用してください。 頭出しする場合は厚手の専用テープを使用します。 市販のマスクテープで、約0.4mm厚 ハード専用テープで、約1.0mm厚 施工ラインの幅は20mm～30mmを推奨しています。 *和紙系のマスクテープを使用した場合、剥がす時に途中で切れてしまい、きれいに施工できない場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> マスクテープ 推奨 クレップ紙 N G 和紙
↓		
プライマー塗布	<p>◎専用プライマーの塗布</p> <ul style="list-style-type: none"> プライマー少量をタッカーヘッド等に含ませ、薄く延ばしながら塗りつけていきます。 10mlで約0.5-1.5㎡塗布可能です。(非多孔質の場合) *使用量目安 ハード10本につき1瓶 (50ml) 	<ul style="list-style-type: none"> 専用プライマー *Tプライマー (無溶剤万能) *MSプライマー (金属下地用) *PPプライマー (PP下地用)
↓		
専用ガンで材料塗布	<p>◎ハード塗布</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードにノズルを装着後 (しっかりロック) 専用ガン製品カートリッジを装着します。 混合不良を避けるため、ガンのトリガーを押して、最初の材料10-30cmを吐出し破棄します。 ノズルが新しくなる度、初期剤の破棄をして下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 専用ガン 手動 (30Mぐらい迄) 電動 (施工量が多い時) ハード 混合用ノズル

↓	<ul style="list-style-type: none"> 施工幅、施工深さに応じた吐出量で材料を吐出して下さい。施工長が長い場合は施工性を上げるため電動ガンを使用して下さい。 吐出量が多いほど硬化が早くなりますのでお気をつけ下さい。 ノズル内で材料が1-3分 (施工時の環境温度による) 滞留すれば、吐出できなくなります。 この場合、無理に吐出させず、ノズル交換してから再塗布して下さい (初期剤の破棄忘れずに) *冬場 (寒い場合) 材料が硬く押し出しにくくなります。 その場合、車のエアコン付近に置くなどして材料を人肌程度に温めておく (20-30℃) ようにしてください。 *夏場 (暑い場合) 炎天下におかず、冷やしてください (20℃) そのまま使用すると吐出直後から硬化してしまい施工できません。 	
塗布材料均し	<ul style="list-style-type: none"> 塗布した材料を直後からゴムベラ等で平滑に均していきます。硬化が早いので手早く作業し、均し終えたらすぐにマスクを除去してください。 *マスクが剥がれなくなります。 *ゴムベラについて材料はエタノールを染み込ませたウエスで定期的に拭き取りながら均して下さい。 放置しておくとゴムベラ上で硬化し使えなくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴムベラ アルコール (エタノール) ウエス
乾燥硬化・完成	<ul style="list-style-type: none"> 自然乾燥で1-3時間。(施工環境温度による) 硬化を急ぐ場合は、ヒーターやバーナー等で強制乾燥させると、数分で硬化します。 *バーナーを使用する場合は遠目から炙って下さい。近すぎると焦げ跡や変色となり、再施工が必要となります。 *施工は一例です。条件により様々な工法が可能ですのでご不明な時はお問い合わせ下さい。 *内容は施工性向上のため予告なく改良する場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒートガン ヒーター バーナー

施工マニュアルに基づいた施工であっても、施工に関しては一切の責任を負いません。
施工に不安を感じる場合は当社または、認定施工代理店での責任施工をお勧めします。